

## 資料-3 アンケートによる住民意識調査結果

### 1 新エネルギーに関する住民意識調査結果

#### 1.1 主旨

市内において9月17日(土)にシンポジウム「森林バイオマスの島づくり」(主催：佐渡島木質バイオマスフォーラム、後援：佐渡市・新潟県佐渡地域振興局・NEDO・(財)鼓童文化財団)が行われ、この佐渡での自然エネルギー利用を考える機会を活用し、参加者に対して、ビジョンの基本方針やプロジェクトの方向性、行政に対する期待、市の助成制度の認知度等を調査し、住民の意見を取り入れていくことを目的としてアンケート調査を実施しました。

#### 1.2 実施方法

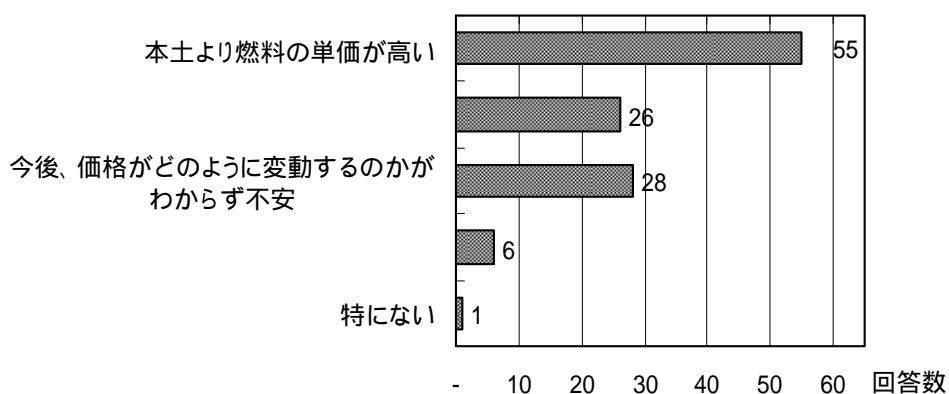
- ・実施日：9月17日(土)
- ・調査対象：シンポジウム「森林バイオマスの島づくり」への参加者
- ・調査方法：シンポジウム会場にて配布、回収。
- ・回収数：65
- ・調査(質問)内容：
  - 現在のエネルギーの利用状況に関する質問・・・佐渡市でのエネルギーの利用状況に関する不安や不満 等
  - ビジョンの基本方針に関する質問・・・ビジョンの基本方針、新エネルギーの導入によって期待する効果、佐渡市で使っていったらよいと思う新エネルギーの種別 等
  - 導入促進に関する質問・・・プロジェクトの方向性、行政に対する期待、住民としてできること、助成制度の認知度や制度利用への意向 等

### 1.3 アンケート調査結果

Q1. 佐渡市のエネルギー利用の現状について、不安や不満はありますか。

(該当するもの全てに をつけてください。)

佐渡市のエネルギー利用の現状について、本土よりエネルギー単価が高いことを懸念していることがわかります。また、災害時のエネルギー利用についてや、エネルギーの原料の価格に変動に対して不安を抱いていることがわかります。

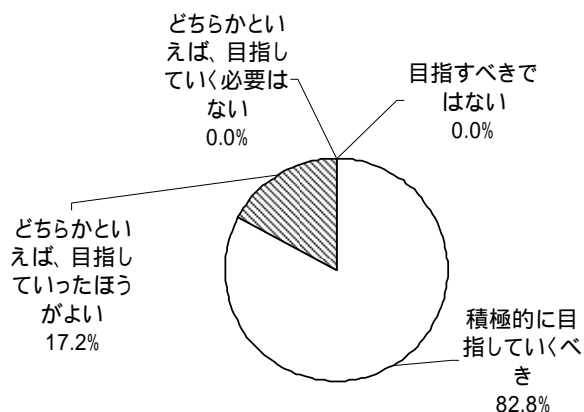


(その他記述欄)

- ・ 島内で自給できるようにしておかないと心配。重油やガソリン、灯油が入ってこない時を考えないと。
- ・ 電気がなく、佐渡汽船が運航しなくなるのが、不安だ。
- ・ 燃料が本土より 20 から 30%高い。(輸送費、流通量として高すぎる。) 計算してみてもいいか？
- ・ 自然エネルギーを導入し易いように助成を広げてほしい。
- ・ 災害だけでなく、今回のように石油高騰でも大きな影響が出る。ある程度エネルギー自給できないと、必要量の確保自体が不安。価格は特に。でも都会よりは不安は少ない。
- ・ 石油依存しているのだから、将来、石油の高値安定などの場合、農業に大きなダメージとなる。
- ・ 化石燃料はやがてゼロになる。
- ・ 化石燃料だけに頼らず、自然エネルギー、ゴミの再利用によるエネルギー化に取り組む体制ができると良いと思う。
- ・ 設備等に多少金がかかっても身近な所のある資源を利用したい。
- ・ 近くに木がいっぱいあるのに、なぜそれを利用しようとならないのか。政治の後押しがなぜない。

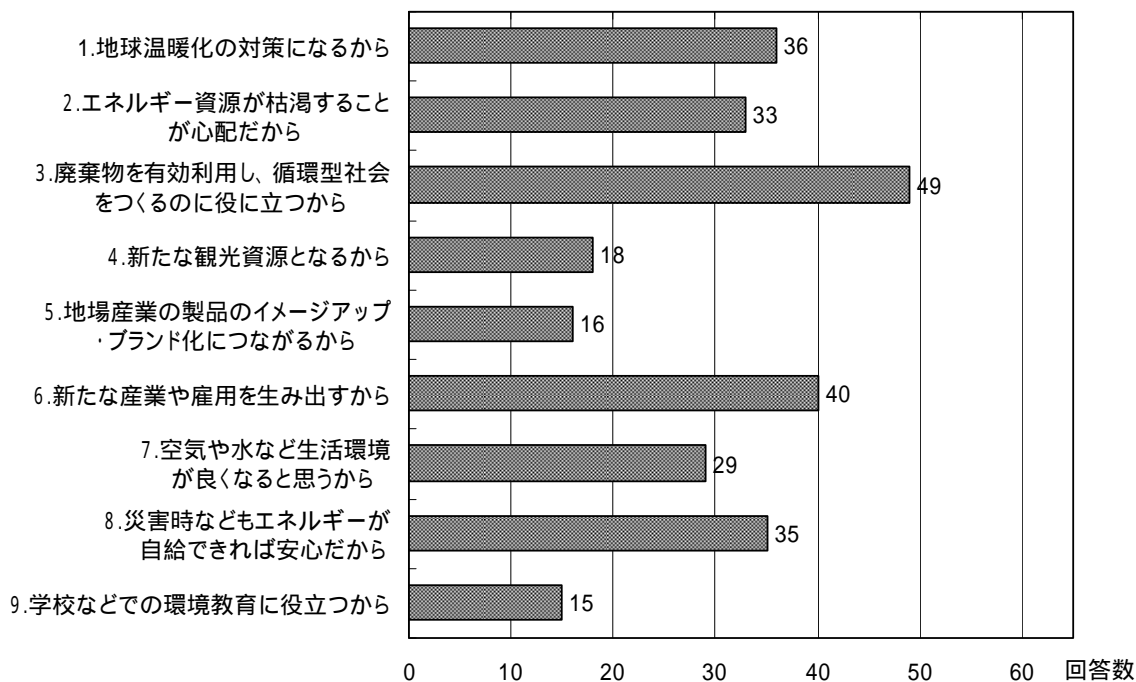
Q2. 現在、佐渡市はエネルギー源のほとんどを島の外に依存していますが、今後、佐渡市が「自然エネルギー100%の島」をめざしていきとしたら、どう思いますか。

現在の佐渡のエネルギー源は本土に依存しているのを踏まえ、佐渡内での自然エネルギー利用を進めていくことを大きく望んでいることがわかります。



Q3. (Q2で「積極的に目指していくべき」「どちらかといえば、目指していったほうがよい」と回答された方のみ)  
「自然エネルギー100%の島」を目指していったほうがよいと回答した理由は何ですか。  
(該当するもの全てに をつけてください。)

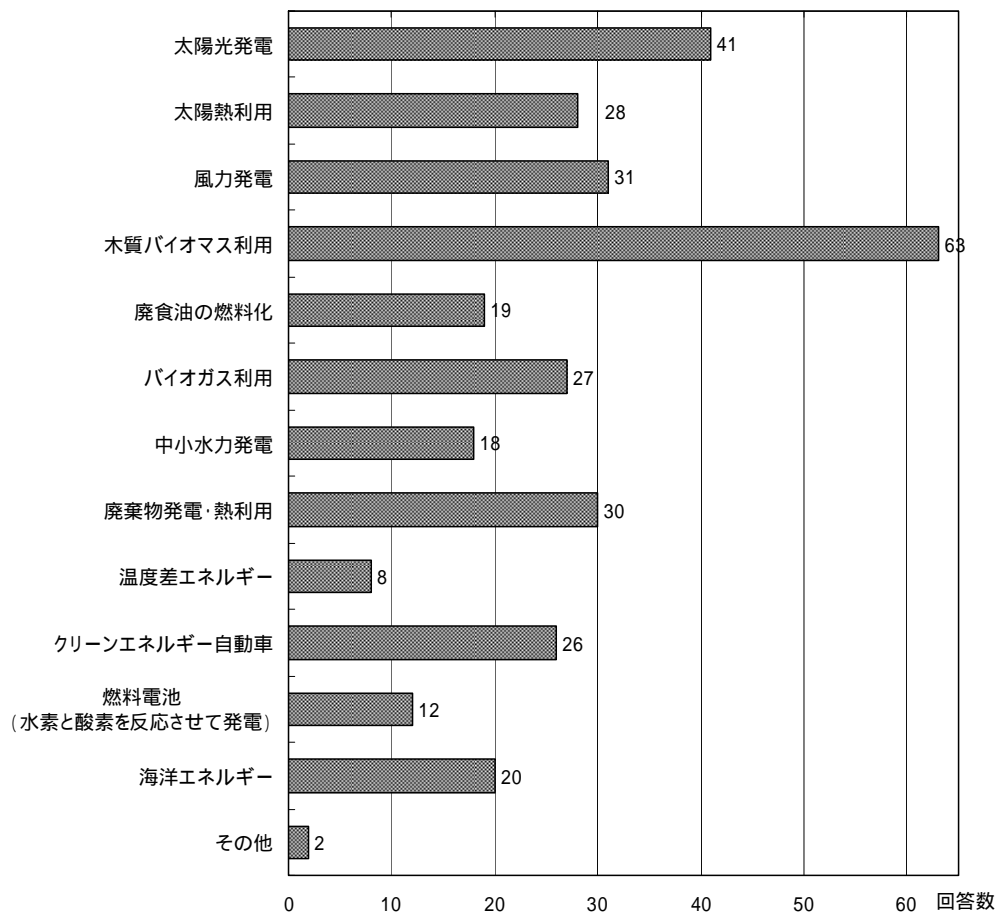
「自然エネルギー100%の島」を目指していったほうが良いと回答した理由として、最も多い回答は「廃棄物の有効利用による、循環型社会の構築」となっています。次いで、「自然エネルギー導入による新たな産業や雇用の創出」を期待していることがわかりました。全体的に自然エネルギーに対して様々な効果を期待していることがうかがえます。



資料-3 アンケートによる住民意識調査結果

Q4. 佐渡市で使っていったらよいと思う新エネルギーはどれだと思いますか。

(該当するもの全てに をつけてください。)

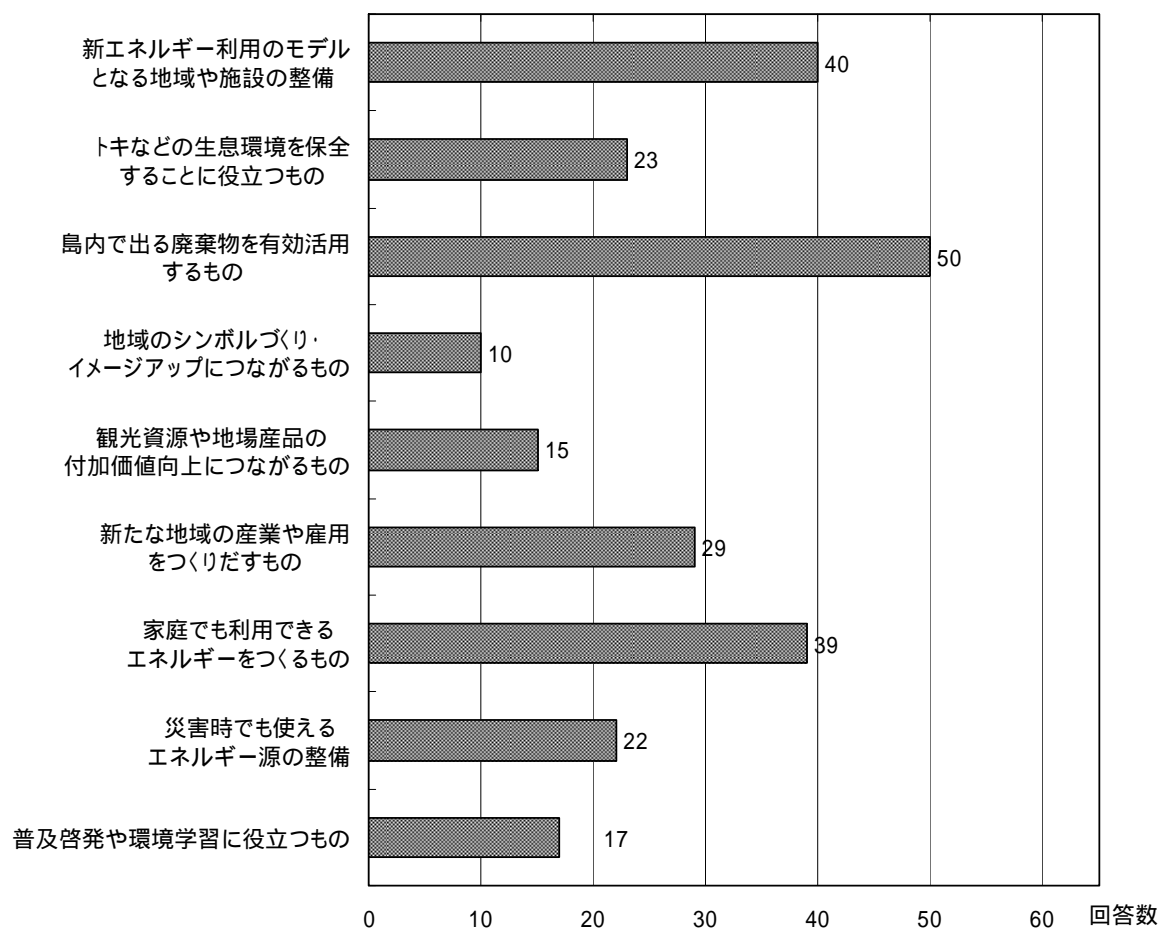


(その他記述欄)

- ・ 海洋エネルギーは費用が高くてつきすぎる。
- ・ ヘンプオイル
- ・ 省エネも。特に車1人1台は疑問。公共輸送システムを作る。一人しか乗っていない自家用車に通行税をかけるとか、相乗りシステムとか、なんとかできないものか。
- ・ 自然エネルギーという表現には、同意しかねる。廃棄物も燃料電池もハイブリッドも含めるから。再生可能エネルギーとか循環型、持続型というべき。
- ・ 住宅の断熱の強化等も反対側からみると新エネルギーだと思う。

Q5. 新エネルギーの利用促進のために、どのようなプロジェクトを行なったらよいと思いますか。  
(該当するもの全てに をつけてください。)

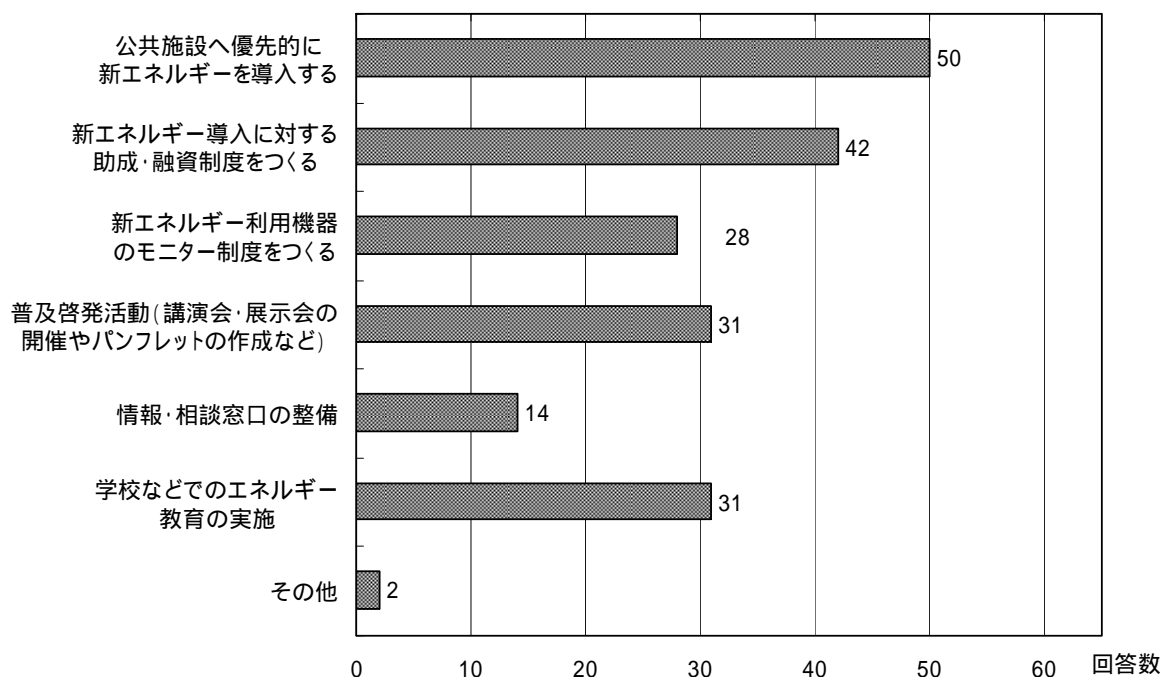
新エネルギーの利用促進を行なうため、どのようなプロジェクトを行なっていけば良いかの質問に対して、最も多い回答として「島内の廃棄物の有効活用」をプロジェクトとして進めるべきとわかります。また、「新エネルギーを利用していく際のモデルとなる地域や施設の整備」、「家庭でも利用できる自然エネルギーの導入」を期待していることもうかがえます。



### 資料-3 アンケートによる住民意識調査結果

Q6. 新エネルギーの利用促進にあたって、佐渡市にはどのような役割を期待していますか。  
(該当するもの全てに をつけてください。)

新エネルギーの利用促進にあたり、佐渡市の担う役割として最も期待されていることは、「公共施設などに優先的に新エネルギーを導入する」ことであり、次いで、「新エネルギー導入に対しての助成や融資制度をつくる」が最も多い回答となっています。



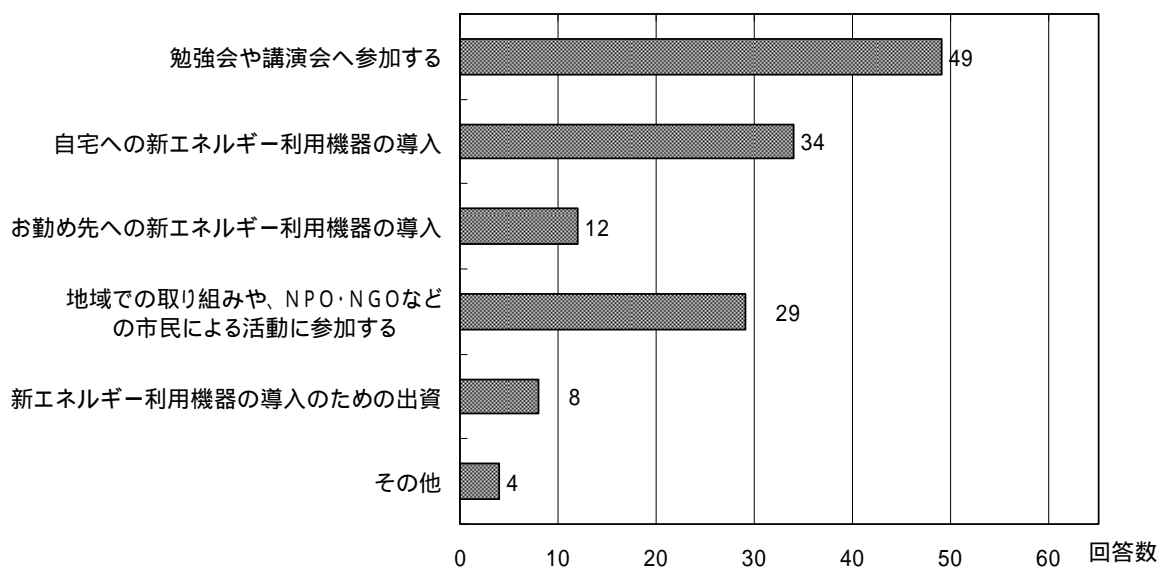
(その他記述欄)

- ・ 公共施設への導入の具体例として、太陽光発電
- ・ 自販機は、みなソーラーパネルで。
- ・ 一般家庭で導入し易いような助成制度。
- ・ 体験から、採算性の検討

Q7. 新エネルギーの利用促進のために、あなたがやってみたいと思うことは何ですか。

(該当するもの全てに をつけてください。)

新エネルギーの利用促進のためにやってみたいと思うこととして、勉強会や講演会などへ参加するなど、市民が新エネルギー導入に対して高い関心があることがわかります。



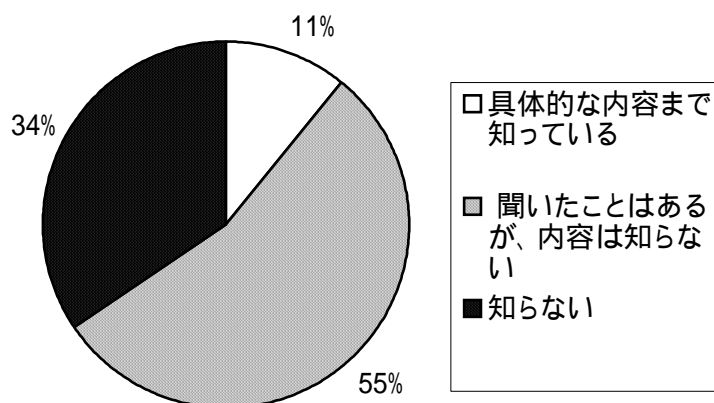
(その他記述欄)

- ・ 都市ガス方式が構築できれば、利用したい。
- ・ 外国の住宅は仕切りがないので、ストーブ、暖房などが利用できるが、日本はそこまで広くない。
- ・ 森の手入れなどに参加したい。
- ・ すぐ簡単に出来るドラム缶炭焼き釜を普及させ、自分で、今すぐ利用できる形で広げていく。他のバイオマスなどのクリーンエネルギーに対する意識は広がっていく。また、炭は、燃料の他様々な利用価値があり、ほとんどの人が感心をもてる。
- ・ 新エネルギーの広報宣伝活動、デモンストレーションなど。
- ・ 自家用車依存の島の交通を改め、老人、子供、観光客が集まるバス等の公共交通を充実し、省エネルギー社会を目指してもらいたい。

資料-3 アンケートによる住民意識調査結果

Q8. 佐渡市では、以下のような新エネルギー利用機器の導入に対する助成制度を設置しています。このことをご存知でしたか。

既存の新エネルギー利用機器の導入に対する助成制度の認知度について、具体的な内容まで知っている方は11%となり、それ以外の89%の回答者が既存の助成制度を把握していない事がわかります。

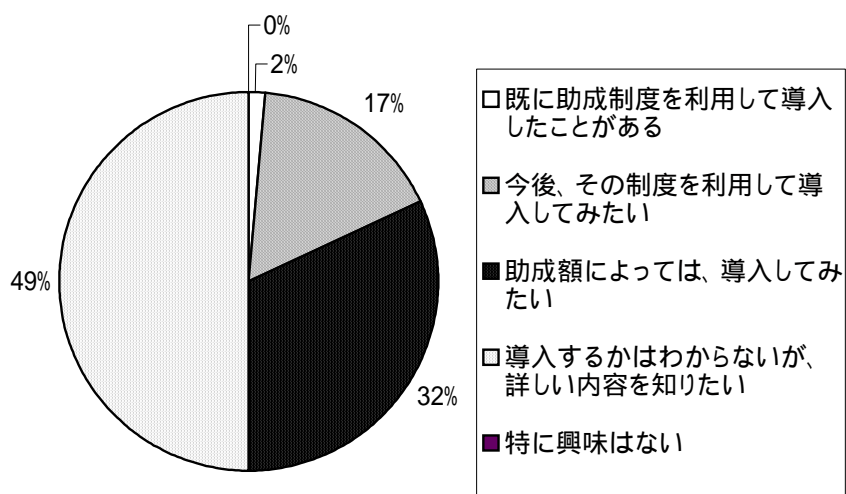


「具体的な内容まで知っている」の具体例として・・・

- ・ ソーラーパネルの営業をした。
- ・ ハイブリッドカーの見積もりをした。

Q9. これらの助成制度を利用して、ご自宅への導入をしてみたいと思いますか。

現時点で、回答者全体の17%の人がすでに助成制度を活用しています。また、今回のアンケートを機に、自然エネルギー導入に対しての助成制度を知り、興味を持っている人が多い事がうかがえます。





**(自由意見欄)**

住民アンケート調査においては、自由意見欄へ以下のようなご意見をいただきました。

- ・ 佐渡島内のエネルギーの需要バランス、エネルギーの流れ図、エネルギーのロスなどを作成し、市民へのデータ公表などを通じて、新エネルギー活用にむけていくことは？
- ・ 森林組合がひとつになり、木質バイオマスを早急に取り組んで、佐渡の森を活用してください。「佐渡木の家」とも連携して、地産地消で良いものを安く、有効に！
- ・ 戦時、航空燃料用無水アルコールを作っていました。昭和 20 年、佐渡でも粗留アルコール製造として、軍が蒸留機の製造をしました。しかし、無水アルコールにするには、帆棧が小さすぎました。離島での工場化は大変採算がとれにくいものだと、つくづく思いました。
- ・ 佐渡にはない資源は、油だけです。ぜひ、油に替わる木質エネルギーを普及させ、油のいない島、なんでもある島を実現し、住みたい島 No1 をめざしましょう。
- ・ 今回フォーラムに参加して感心をしました。
- ・ 子孫のためにも、これからの自然エネルギーの講演会、フォーラム、又機材の導入などをしてくださるよう願います。
- ・ 効率のよい機器に対する助成を希望する。理由：助成を受けて生ごみ処理機を導入したが、電力消費が多く閉口している。メーカーを利する助成はまったく無駄。トータルとして、効率のよいものにのみ助成してほしい。機器の審査機関を設けてほしい。
- ・ 現在は、山の手入れ（下刈り等）ができず困っています（費用がかかり過ぎ）。木材が新エネルギーとして使えるようになれば、このようなことも解決できると期待しています。
- ・ 毎年成長する植物（木、草など）の量は、エネルギー
- ・ 採算で、日本の石油消費量の 20%に相当すると聞きました。これが、まったく使われていないのは、もったいない話です。
- ・ 住宅様式がすでに石油、電気が利用に様式されている今更、木材の利用という気持ちへの切り替えるのは、大変なことに思うから、一考を要することであることは、確かである。太陽熱や風力の利用も考えてみたい。
- ・ 大変いいことだと思いますが、いざ出発となるにはなかなか大変かと思えます。
- ・ 島全体で、森からの恵みを有効利用できることはすばらしいことと思えます。日本海側は、冬を意識し、その分エネルギー源を自分達が暮らしているところから得られるのはすごいことだと思います。できるだけ、安価で永久的に手に入れられるものでほしい。
- ・ ストープのメンテナンスを手厚くする。ストーブも島内で製作できたらいいと思います。島内の鍛冶屋さん復活にもなりますか。ストーブから出た灰は染色などや、

### 資料-3 アンケートによる住民意識調査結果

---

やま物にも活用できるのか、ただ土に返すだけではなくてレンガみたいに固めて、建築材料にもなれるのか。

- ・ 子どもから、大人までエネルギーの自立について学習をしていくことは大切だと思います。
- ・ 佐渡の活性化に役立ってほしい。
- ・ 利用のモデルとなる施設は必要ですが、それだけで終わってしまうこともよくある。
- ・ 一般家庭で実現可能な普及できるモデルを示すべき。可能性を強調しようとして、普通の人が届かないモデルは困ります。
- ・ 森林資源は地域循環型、再生可能エネルギーとして、とても優れたものと思います。期待しています。配布された炭が中国産でがっかりしました。炭焼きも、ぜひ実現したいものです。(炭焼きのワークショップなどしてください。ドラム缶で竹炭を焼くワークショップに参加したことがあります。けっこう大変でした。が、できあがりはとてもうれしいもの。松ぼっくりなど、いろんな形のものも焼いて、楽しい置物ができました。何でも炭になるんですね。我が家では、阪神大震災の教訓から、水は水道と井戸、お風呂と灯油の切り替え可能にしています。
- ・ すでにある風力発電設備はなぜ動かないのか。
- ・ 原因究明と今後の対策(是正処置)と予防的な処置を明確にしないと、今後の新エネルギーなどの導入はうまくいかないと思う。
- ・ 自然エネルギー100%実現させたいです。
- ・ 島内の生活環境の中で出てくる廃材やゴミの再利用に関する調査研究を推進していただきたいし、住民一人、一人が関心をもてるように、運動を広めていくとよいと思います。
- ・ 島内エネルギーは、島内で作くり、島内で消費する(自給自足システムを構築すべきである)。特に森林資源の活用には(木材、竹)は早急に取り組むべき課題であろう。環境型農業を考えると、木炭の利用の有効的と思われる。
- ・ 木質エネルギーについて豊富な資源を利用し活用に発展しつつある現状の森林をぜひとも価値あるものに行く努力が必要だと思われ、実行に行くべきだと思います。
- ・ 木の利用、竹の利用を積極的に推し進めてほしい。
- ・ 生ゴミ=資源なんだという視点で、知恵を働かせてほしい。
- ・ 木のチップ(建設会社で大量に作っているようです)カキ殻などの利用を行政から後押ししたら、有効利用できるのではないか。
- ・ 菜種油の利用
- ・ 放棄された農地も拡大し、全島的に栽培したらすごくきれいだと思う。 観光資源
- ・ バイオマスという言葉を知りました。ありがとうございました。

## 2. 環境基本計画によるアンケートについて

### 2.1 概要

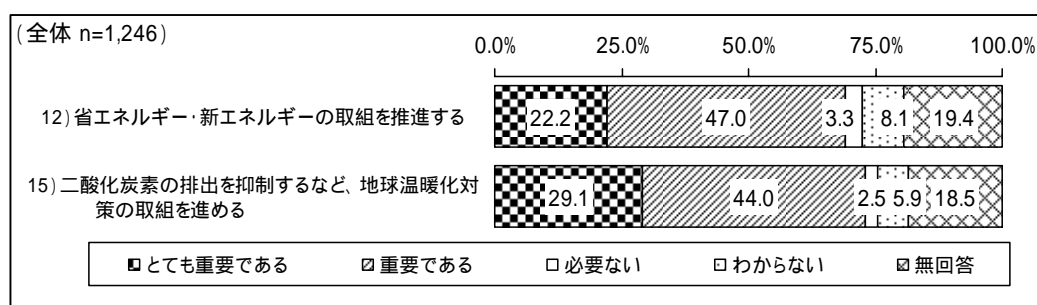
佐渡市では、平成 17 年度～18 年度における 2 年間で環境基本計画の策定事業を行っています。その一環で、幅広く市民の意見を反映させるため、環境の保全に関する市民の意識調査を行い、ワークショップの議論の資料として活用することを目的に市民、事業者、教職員を対象としたアンケート調査を実施しました。その質問項目及び結果のうち、新エネルギーに関連するものについて以下に抜粋しました。

### 2.2 アンケート調査結果（新エネルギー該当部分のみ抜粋）

#### 2.2.1 市民アンケート

- ・実施期間：平成 17 年 8 月
- ・調査対象：佐渡市民 無作為抽出による 2,750 人
- ・調査方法：郵送
- ・回収数：1,246

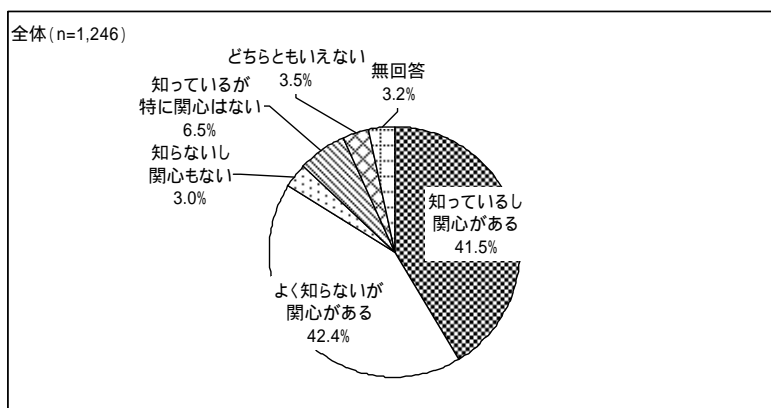
問 12 あなたは将来の世代に良い環境を残し、受け継いでいくために、どのような取組や施策に重点的に取り組むべきだと考えますか。それぞれの取組について、あてはまるものを 1 つ選んで、をつけてください。



「省エネルギー・新エネルギーの取り組みを推進する」は回答者全体の 69.2% が、また、「地球温暖化対策の取り組みを進める」は、全体の 73.1% が重要だと回答しています。

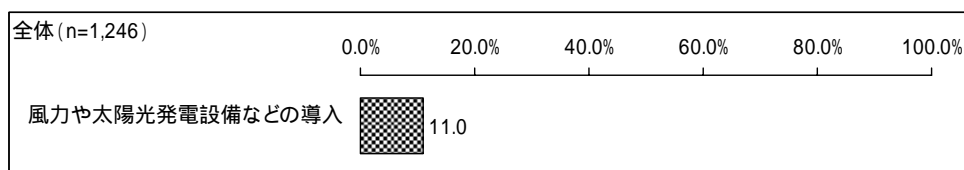
問 16 二酸化炭素の排出量がこのまま増えつづけると、2100 年には平均気温が 1.4～5.8、海面水位は 9～88cm 上昇し、生態系が変化したり、災害が増えるなどの影響があると予測されています。あなたはこのような地球温暖化について知っていますか、あるいは関心がありますか。

資料-3 アンケートによる住民意識調査結果



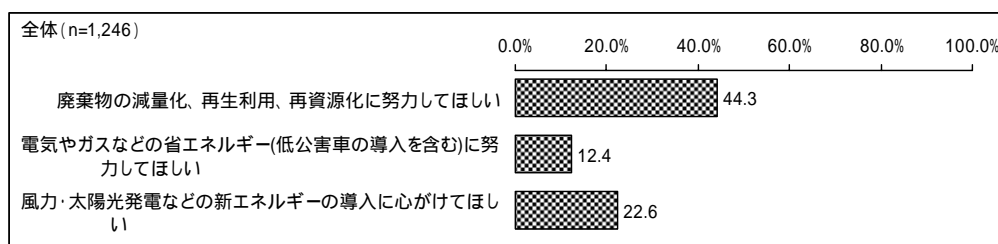
地球温暖化については、関心があると回答した方は全体の 83.9%を占めています  
が、そのうち、地球温暖化について知っている方は約半数にとどまっています。

問 17 地球温暖化防止に関して、あなたはどのようなことに心がけていますか、あ  
るいはどのようなことなら実行できますか。3つまで選んで、 をつけてくだ  
さい。



「風力や太陽光発電設備などの導入」について心がけていると回答した方は全体  
の 1 割程度にとどまっています。

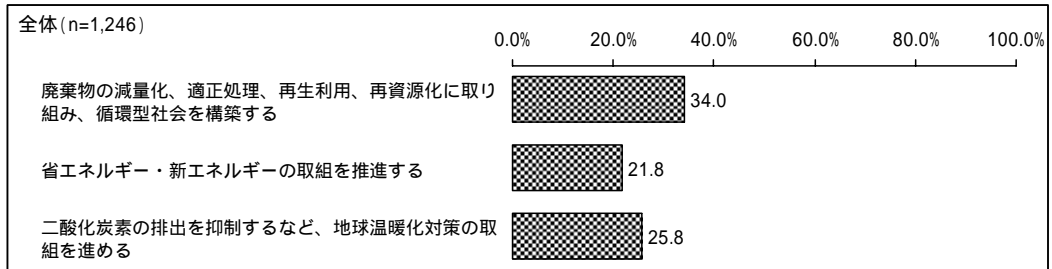
問 21 佐渡市全体の環境を良くしていくために、商工業や農林水産業などの事業者  
に対して、あなたはどのようなことを望みますか。3つまで選んで、 をつけ  
てください。



事業者に対して「風力・太陽光発電などの新エネルギーの導入に心がけてほしい」  
と回答した方は、全体の 22.6%となっています。

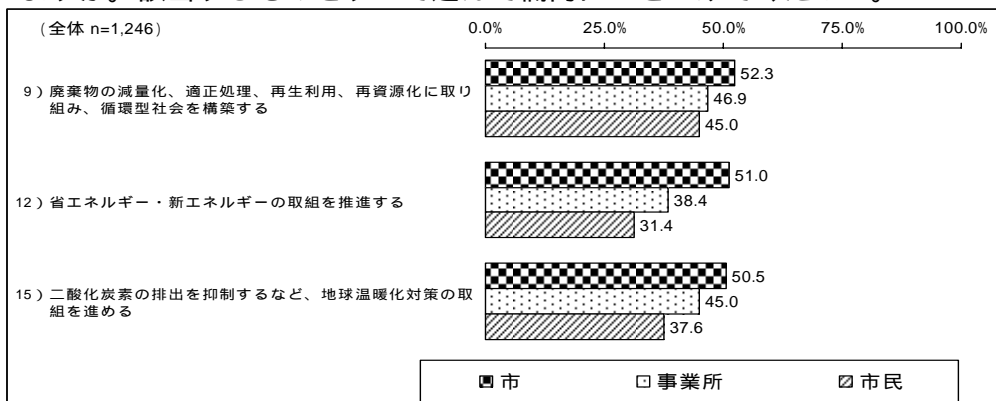
問 22 環境の様々な課題に対して、どのように対処すればよいかおたずねします。

・あなたは下記の課題に対して積極的に取り組むことができますか。取り組むことができると思う方は「積極的に取り組める」欄内に をつけてください。

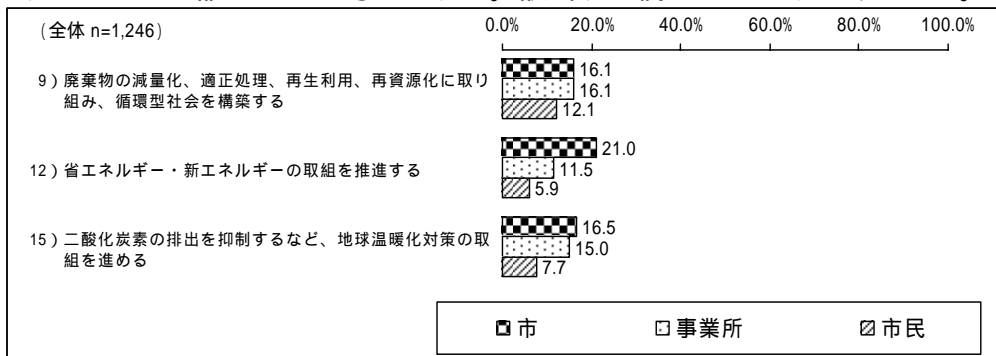


「省エネルギー・新エネルギーの取り組みを推進する」ことに積極的に取り組めると回答した方は全体の21.8%となっています。

・また、「市」、「事業者」、「市民」のいずれが対処すればよいと考えますか。該当するものをすべて選んで欄内に をつけてください。



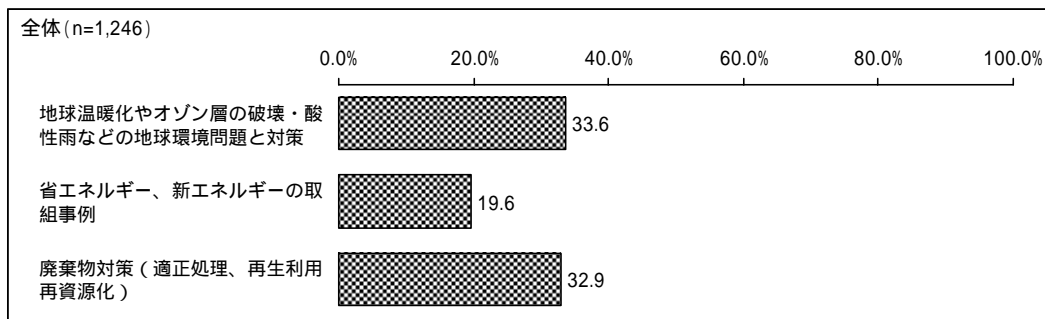
・さらに、これらの3者(市、事業者、市民)のうち、特に中心的な役割を果たすべきものは誰であると考えますか。該当する欄に をつけてください。



「省エネルギー・新エネルギーの取り組みの推進」は、市が対処すべきと回答した方が全体の約半数を占めています。次に事業者が38.4%、市民が31.4%となっています。他の多くの項目と同様に、市が中心的な役割を果たすべきであるとの結果となっています。

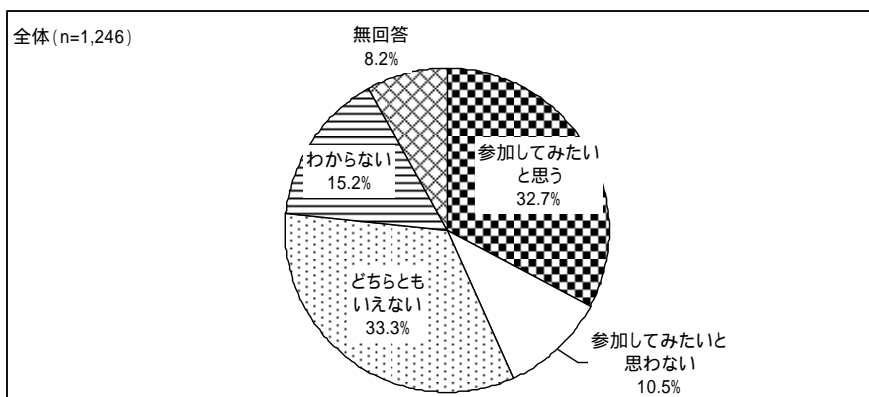
資料-3 アンケートによる住民意識調査結果

問 24 最近では、年齢を問わず、環境教育や環境学習がさかんになっていますが、あなたはどのような環境教育や環境学習に関心がありますか。2つまで選んで、をつけてください。



「省エネルギー、新エネルギーの取組事例」は、4番目に多く19.6%の方が環境教育、環境学習のテーマとして関心があると回答しています。

問 25 あなたは今後機会があれば、環境教育や環境学習活動に参加したいと思えますか。

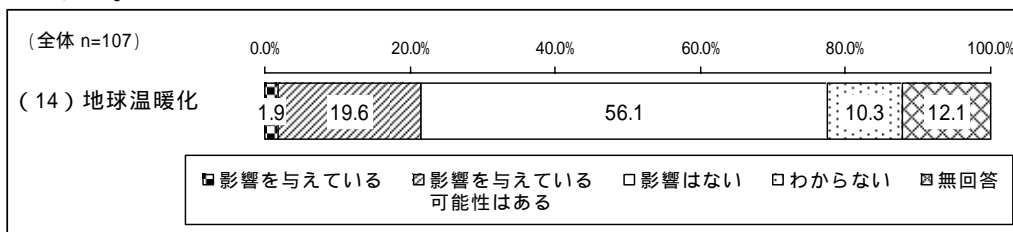


環境教育や環境学習活動に「参加してみたいと思う」と回答した方は、全体の32.7%となっています。

2.2.2 事業者アンケート

・回収数：107

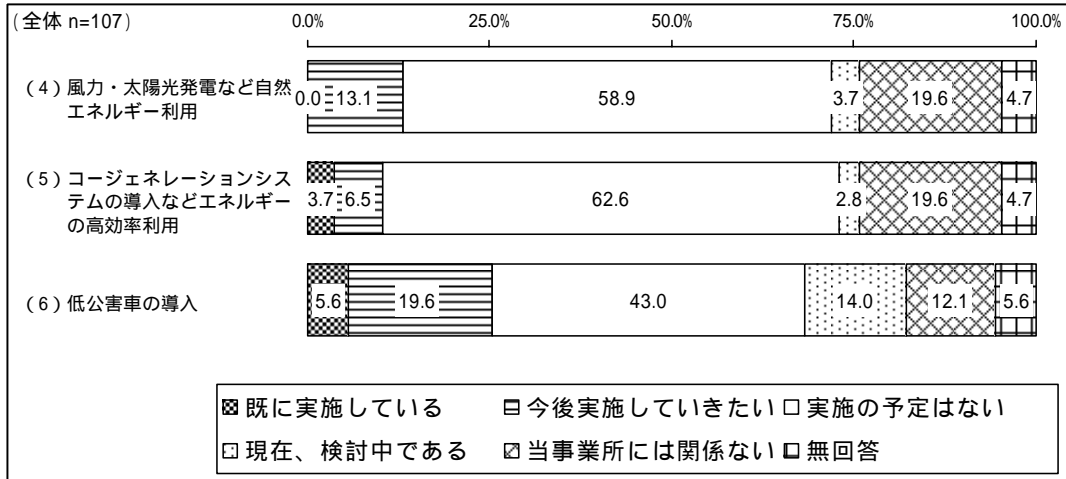
問 7 貴事業所の活動は、地域や地球全体の環境にどの程度の影響を与えていると思えますか。



自事業所が影響を与えている、またはその可能性があると考える項目は、「地球温暖化」が2番目に多くっており、全体の2割近くがそう考えています。

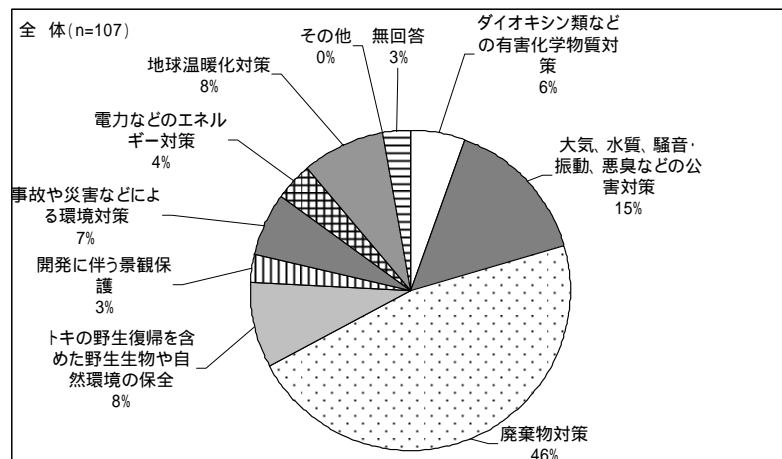
問9 貴事業所では、環境問題に関する取組として、どのような活動をされていますか。以下のそれぞれの項目に沿って、あてはまるものを1つ選んで、をつけてください。

【2 省エネルギー対策】



「風力・太陽光発電など自然エネルギー利用」を今後実施していきたい、または検討中であると回答した事業所は合わせて 16.8%、また「低公害車の導入」については 33.6%おり、これら事業所に対しての訴えかけは効果的であると考えられます。

問17 貴事業所にとって、最も関心の高い環境問題は何ですか。貴事業所の考えに最も近いものを1つ選んで、をつけてください。

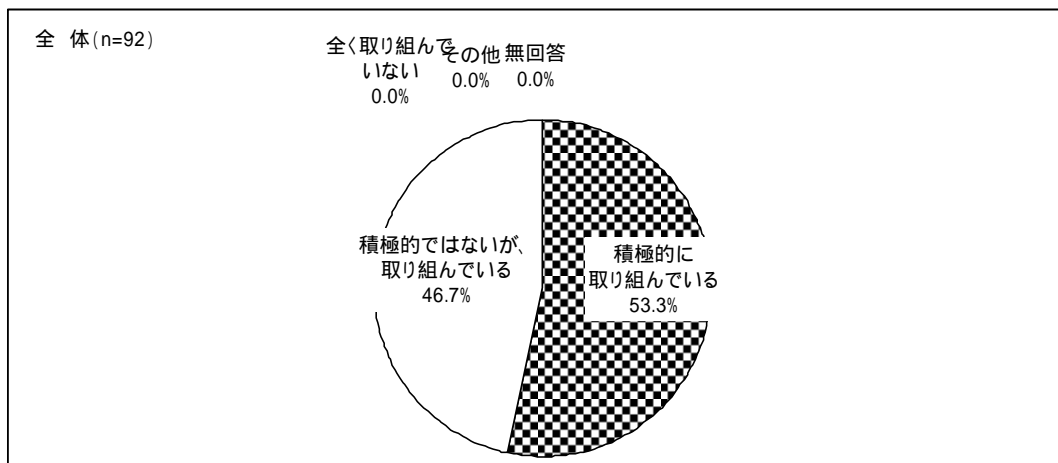


自事業所で最も関心の高い環境問題としては、廃棄物対策が最も多く、エネルギー対策、地球温暖化対策はそれほど多くありませんが、廃棄物の中でエネルギー利用ができるものを有効利用することで、廃棄物面での問題を解決できる可能性があります。

2.2.3 教職員アンケート

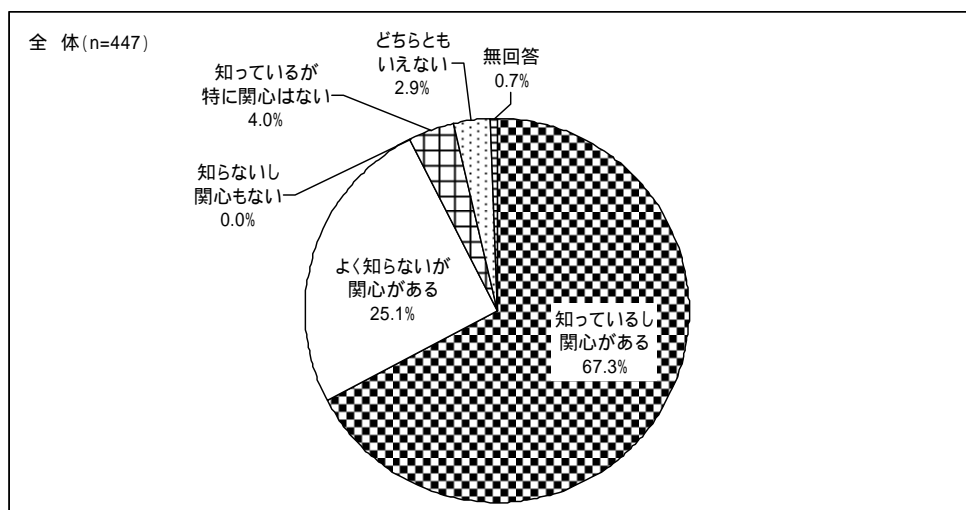
・回収数：447

問 5-5 貴校では環境教育に取り組んでいますか。



回答のあった学校では全ての学校において環境教育が実施されています。

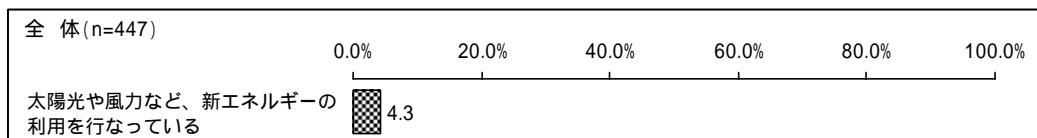
問 6 二酸化炭素の排出量がこのまま増えつづけると、2100年には平均気温が1.4～5.8、海面水位は9～88cm上昇し、生態系が変化したり、災害が増えるなどの影響があると予測されています。あなたは、このような地球温暖化について知っていますか。あるいは関心がありますか。1つ選んで をつけてください。



地球温暖化について知っており関心があると回答した方は 67.3%に上っており市民アンケートに比べて 25%以上多い結果となっています。

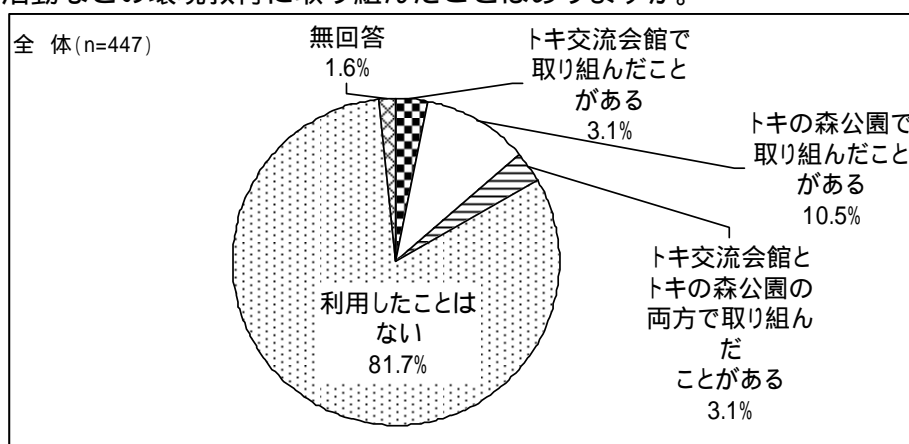


問7 地球温暖化に関して、あなた自身は、どのようなことに心がけていますか。すべて選んで、をつけてください。

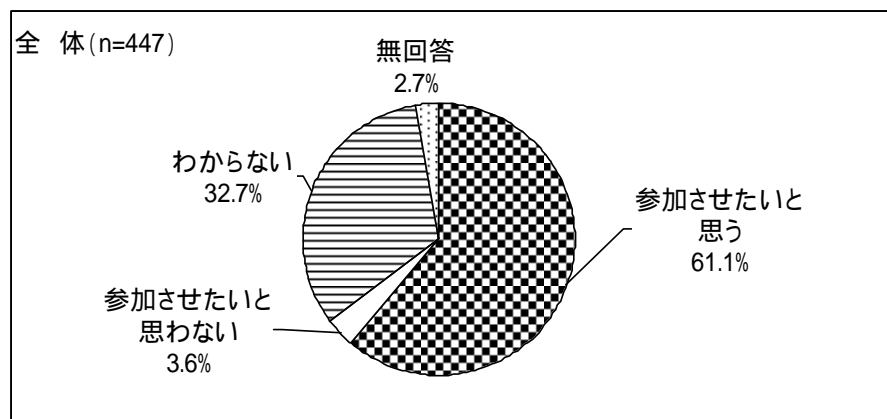


新エネルギーの利用について心がけていると回答された方はわずか4.3%にとどまっています。

問 11-1 あなたは、トキ交流会館やトキの森公園で、見学・自然観察・ボランティア活動などの環境教育に取り組んだことはありますか。



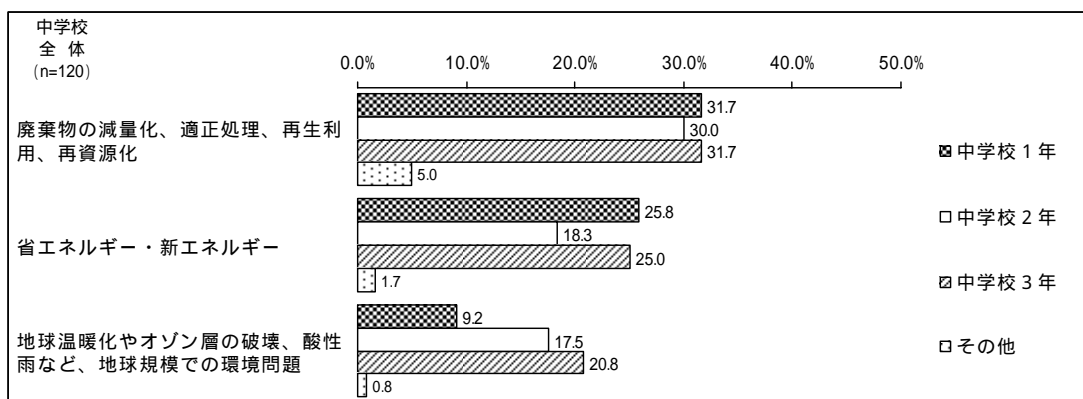
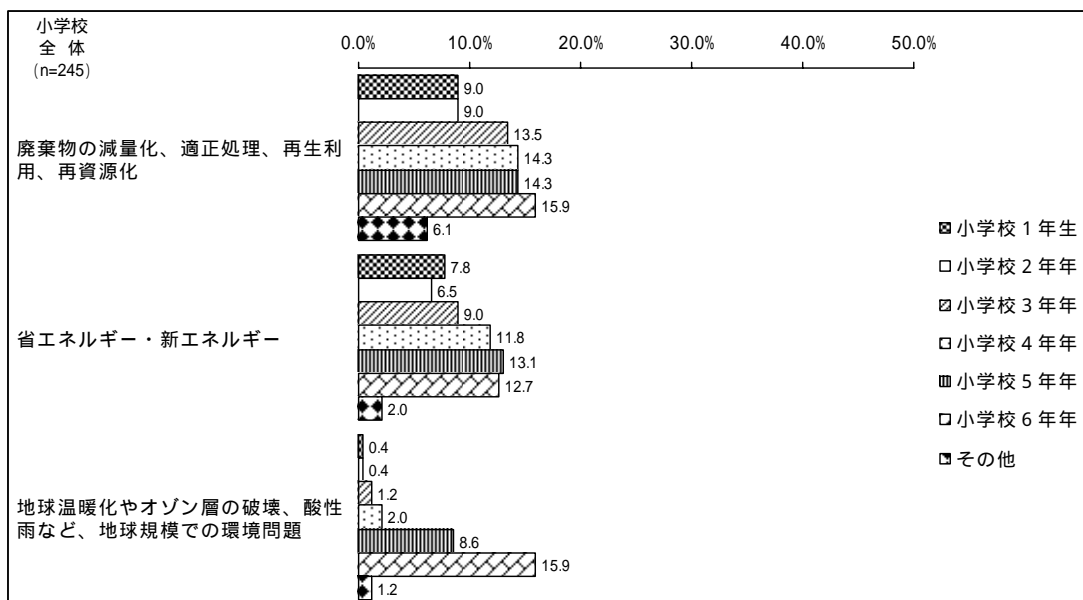
問 11-2 環境教育の一環として、児童・生徒をトキ野生復帰のためのボランティア活動に参加させたいと思いますか。1つ選んでをつけてください。



現在すでにトキの保護増殖や野生復帰の取組について環境教育に活用したり、トキ交流会館やトキの森公園で、見学・自然観察・ボランティア活動などの環境教育に取り組んだことのある先生は多くありませんが(問10、問11-1より)、そういった活動に自動・生徒を参加させたいと思っている教職員の方は6割以上となっています。

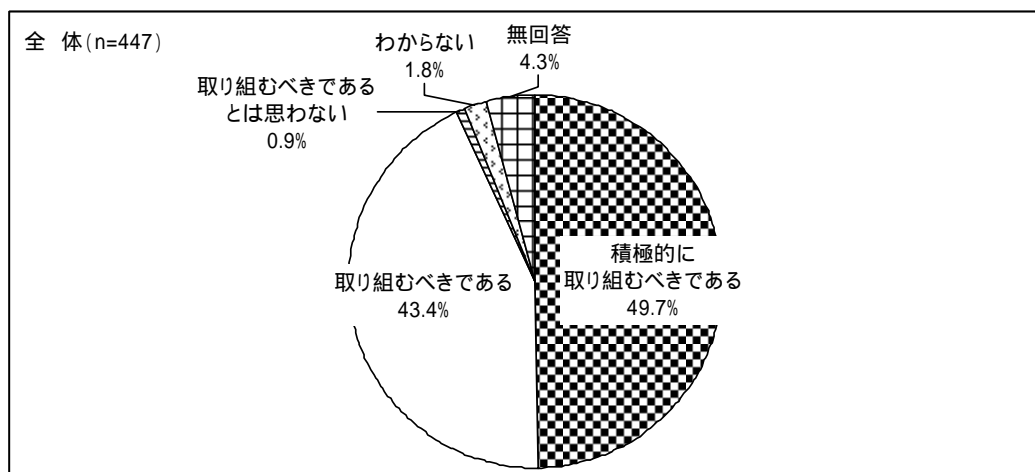
資料-3 アンケートによる住民意識調査結果

問 15 問 13 で（環境教育を）取り組んでいると答えた方におたずねします。あなたは、環境教育を平成 17 年度において、どのような内容で実施し、どのように実施していく予定ですか。（回答例）をご参照の上、学年ごとに取り扱う環境問題と取組の頻度について、あてはまるものをすべて選び、番号をご記入ください。



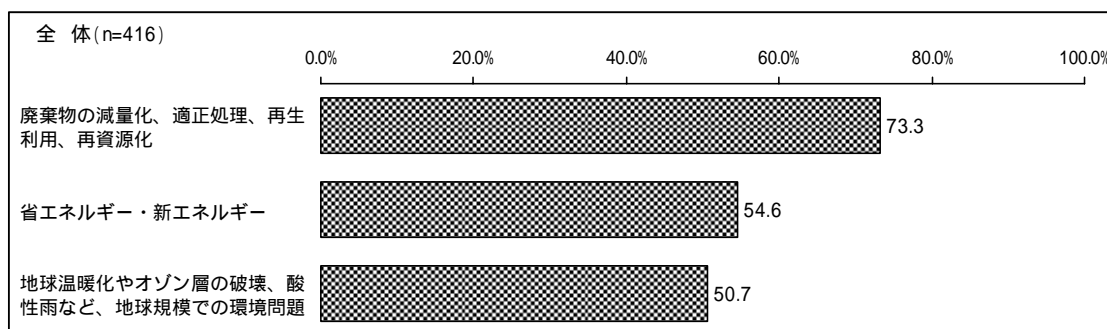
「省エネルギー・新エネルギー」「地球温暖化など地球規模での環境問題」については、小学校よりも中学校で取り組まれていることが多いようです。

問 20 あなたは、今後、環境教育にどのように取り組むべきだと思いますか。



問 20-1 (問 20 で「積極的に取り組むべきである」、「取り組むべきである」と答えた方のみ)

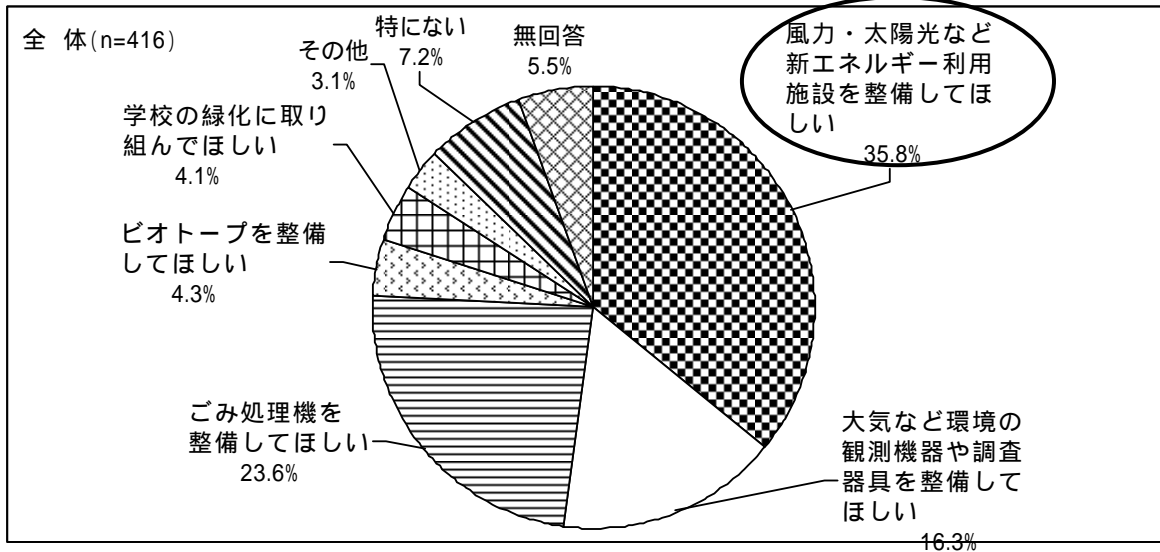
今後、特に重視すべき環境問題は何ですか。いくつでも選んで をつけてください。



「省エネルギー・新エネルギー」「地球温暖化など地球規模での環境問題」を特に重視すべきと回答した方は、どちらも半数を超えており、それぞれ3番目、4番目に多い回答となっています。

問 20-1 問 20 で「積極的に取り組むべきである」、「取り組むべきである」と答えた方におたずねします。施設面では、どのようなことを望みますか。最も望むものを1つ選んで をつけてください。

資料-3 アンケートによる住民意識調査結果



環境教育に取り組む上で、設備面では「風力・太陽光など新エネルギー利用施設を整備してほしい」との回答が最も多く、学校など環境教育に役立つ場所への設置の要望が高くなっています。